

熱海の未来を創ります



田島秀雄

あけましておめでとうございます。

市民皆様には、お健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。平素は、暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、米リーマン・ブラザーズ破たん1年後の、昨年11月、アラブ首長国連邦のドバイの金融不安「ドバイ・ショック」を機に、経済状況は一段と厳しい状況にあります。

■静岡県

静岡県においても、昨年10月末時点で平成21年度の県税収入が、前年同月に比べて20・5%減となり、

中でも収入の柱である法人2税（法人県民税、法人事業税）が景気後退で50・2%減と大きく落ち込み、予算の達成率は当初見込みの58・1%にとどまっております、厳しい財政運営となっております。

（県税務室によると、不況を見越して今年度当初予算では県税収入を前年度当初比20・2%減の4590億円と見込んでおりましたが、昨年10月末の時点で約2505億円となりました。また、県税収入の柱である法人2税については当初予算で約1198億円の

見込みから、10月末時点で約583億円となりました。）

引き続き平成22年度においても厳しい状況を想定しております。

知事が新規事業として使えるのは6・4%しか残されていない状態です。

■熱海市

熱海市には泉・伊豆山・熱海・多賀・網代・初島と、個性を持った地域があります。

お客様は、日常生活と変わった空間を求めています。宿泊産業の集中する市内熱海地区だけでの観光のまわづくり重点では幅が広がりません。

伊豆半島全体での取り組みを望むところでありますが、先ず私達熱海市に於いて、個性のある地域作りが大切であります。

そして、それは地域を器物施設で牽引するのではなく、今ある地域の色・匂い・生活を隠さずお客様に提供するものであります。

私は県議会の立場から、各地域に、地元の皆さんや熱海市行政からの要望を取り入れ、下水道事業や上水道事業の健全化と合わせ、活動の舞台となる場所づくりや、公共施設整備に取り組みでまいりました。

（泉・道路網や派出所の新設 伊豆山・伊豆山港へ平場新設 市内・親水公園、海釣り堤防整備、熱函道路海市行政からの要望を取り入れ、下水道事業や上水道事業の健全化と合わせ、活動の舞台となる場所づくりや、公共施設整備に取り組んでまいりました。）

（泉・道路網や派出所の新設 伊豆山・伊豆山港へ平場新設 市内・親水公園、海釣り堤防整備、熱函道路退避所設置、梅園交差点整備 多賀・長浜海浜新設、大仁線整備 水神川親水化整備 初島・港湾の修復 網代・港埋め立て、高潮対策など。実施・実施中）

これら舞台を活用し、地域住民の未来を創る活動を支援する段階にあります。

■私は、伊豆地域・そして熱海市を代表する県議会議員として、観光でしっかりと勝ち抜くことが出来るよう、地元行政や、市議会、そして直接市民皆様の声を聞き行動します。

そして本年は、市民皆様の先頭に立ち、血の通った地域作りへ向け『常識から改革へ』の精神で、努力致します。市民皆様の力あわせをお願い致し、年頭の挨拶といたします。